

平成29年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	018012	事務事業名	契約監理事務費			
担当部・課名	財政部・契約監理課	評価者 (課長)	濱田 和茂	評価責任者 (部長)	近光 慎二	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画におけ る位置づけ	施策コード	900306	分野	9行政経営	事業の分類	(経常的事務事業)
	基本施策	3持続可能な財政運営			補助・単独の別	単独
	推進施策	(6)財政運営の透明性の確保			会計名	01一般会計

事業の目的 (対象)	条件付一般競争入札 (建設工事、測量・建設コンサルタント、業 務委託、物品調達等)	事業の目的 (意図)	市が発注する工事、業務委託、物品調達等の入札・契約事務につい て、公契約としての効率化を進め、透明性・競争性・公平性を有した、適 切な入札・契約制度の確立を図る。
事業の内容 (手段)	<ul style="list-style-type: none"> 入札参加業者の資格審査、登録及び管理 建設工事、業務委託、物品調達等における業者選定、要件・資格審査、入札執行、入札結果の公表 入札参加業者の指名停止処分 入札・契約制度の見直し及び改正 契約等審査会の開催事務 		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	27年度	28年度	29年度
					目標値	実績値	達成度(%)
条件付一般競争入札件数 【建設工事、測量・建設コンサル タント、業務委託、物品調達 等】	達成項目 / 目標項目		%	目標値	-	86.0	104.0
				実績値	-	96.0	
				達成度(%)	-	111.6%	

事業費	項目	単位	27年度	28年度	29年度(予算)	30年度(予算)	31年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,941	1,094	2,140	858
うち一財		千円	1,941	1,094	2,140	858	858
(決算額)	直接事業費	千円	1,826	997		対29年度増減理由	対30年度増減理由
	うち一財	千円	1,826	997		競争入札参加申請 処理システムの改修 委託料を計上してい るため	臨時的経費分が減 額
	正職員人件費	千円	59,240	65,943			
	人工数	人	8.00	9.00	11.00		
	支出コスト	千円	決) 61,066	決) 66,940			

【評価】 Check

課題・ 問題・ 評価等	事業開始 からの 推移	近年庁舎建設など大型事業が実施される中で、入札・契約の 手続き及び契約内容に関して、透明性の確保が益々重要に なってきた。建設工事における先進技術や施工の高度化、 積算の高精度化など、業者の能力・知識が向上する中で、発注 者サイドにおける建設技術全般の知識向上やスキルアップが 求められている。	課題・ 問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 入札契約事務については、庁舎建設など市民からの注目度も 高いことから、常に公平性、公正性、透明性、競争性を確保す ることを前提として厳正に対処しなければならない。また、入札 監視委員会での意見・審議内容については、庁内関係組織に 適切かつ有効にフィードバックする必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と 結びつか ない場合 の理由
	事務事業 の方向性	入札契約事務については、常に公平性、公正性、透明性、競 争性に加え、経済性、地域性を確保することを前提として厳正 に対処しなければならない。また、平成26年6月に一体改正さ れた「品確法」「入契法」「建設業法」の適用指針「発注関係事 務の運用に関する指針」に基づき、継続的に制度改正や見直 しを行う必要がある。	評価 責任者 コメント	入札契約事務については、常に公平性、公正性、透明性、競 争性を求められている。本年4月から土木関連工事への積算条 件書の導入などの制度改正を行なったが、今後も法令等の適 切な運用はもちろん、現状に即した制度の見直しを行って いく必要がある。

【改善】 Action

平成30年度当初予算等での改善結果(平成30年度当初予算への反映など)	備考
H30年度は、臨時的経費が減額となり、経常的経費の中で、委員会の開催数・消耗品費等を見直すこ とで予算の削減となった。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	登録業者の資格審査、登録及 び管理	申請者に対して資格の審査を 行い、要件を満たしているか確 認する。	適正な有資格者を登録し、入札への公平 な参加機会を与えた。	124	1.00	0.20	
				否			
②	入札参加業者の業者選定、入 札執行、入札結果の公表や入 札参加業者の指名停止処分	入札参加資格者から指名業者 を選定し、競争性のある入札を 実施する。	指名方針のもと適正な選定を行い入札へ の公平な参加機会を与え、競争性のある 入札を実施し、結果を公表することで入 札の透明性を図った。	623	5.10		
				否			
③	契約等審査会の開催事務及 び業者選定並びに契約の適正 な積算と執行の指導	契約事務の適正な執行を行う ため、業者選定及び入札参加 資格条件の審査及び指導を行 う。	適正な業者選定及び入札参加資格条件 の審査を行い、入札への公平な参加機会 を与えた。また契約事務の適正な執行体 制を確立した。	76	0.60		
				否			
④	施工管理技術の監理・工事途 中での中間検査の実施や工事 目的物の引き渡しを受けるた めの完成検査の実施	工事等の履行の確認と工事目 的物の品質の確保、工事等に 関する技術水準の向上。	厳正かつ適正な検査を実施し、品質、規 格、性能及び数量が契約内容に適合した 物件の受け渡しを確保した。工事等に 関する技術水準向上の指導した。	93	2.00		
				否			
⑤	入札監視委員会の開催事務	中立公平な立場から、本市の 行う入札・契約の過程、契約内 容について審査を受ける。	第三者による監視により入札契約の透明 性を確保し、不正行為の防止を図るとも に公正な競争を促進した。	81	0.30		
				否			